

(公民館用)

回答日：令和7年7月16日

前橋市公民館運営審議会では、前橋市からの諮問「地域学校協働活動と公民館」に対して、令和6・7年度の2年間で協議を行い、答申書を前橋市に提出します。つきましては、学校、地域及び公民館との連携事業等について、以下のご質問への回答にご協力をお願いいたします。

1 下川淵公民館主催

令和7年度下川淵公民館青少年体験・チャレンジ活動「下川淵こども体験教室（夏）」
「こども薬剤師体験」についてお伺いします。

(1) 本教室の開催趣旨やねらいをご教示ください。

- ・こどもたちの好奇心や生きる力を養う。
- ・地域の人材を活用し、知識の地域還元を図る。
- ・学校とは異なる集団で学習することにより、自ら学ぶ姿勢を身につけてもらう。
- ・職業体験をすることで、こどもたちの視野を広げ、職業観を養ってもらう。

(2) 本教室を地域と連携して開催するねらいをご教示ください。

こどもたちの郷土愛を育むとともに、地域の人材の知識の地域還元を図る。

2 令和6・7年度前橋市公民館運営審議会の諮問「地域学校協働活動と公民館」に伴い、学校や地域、公民館との連携についてお伺いします。

(1) 学校や地域と連携して事業を行う中で、学校や地域に期待することはありますか。

地域の人材に関する情報提供や参加者、協力者の派遣をお願いしたい。

(2) 学校や地域と連携して事業を行う際、苦勞する点はありますか。

土日の行事に児童生徒に参加してほしいが、働き方改革により教員の協力を得ることが難しい場合がある。

(3) 学校と地域がこれまで以上に連携するために必要だと思いませんか。

コミュニティスクールの会議などで具体的に必要な連携について協議すること。

(4) 学校と地域がこれまで以上に連携するために公民館がすべきことは何だと思いませんか。

各種行事や公民館主催事業を行う中で連携を深めてもらう。
地域の人材の把握や育成をして、行事や公民館事業で活躍してもらう。

(5) 今まで学校や地域と連携して事業を行う中で上手くいった、または失敗した事例があればご教示ください。

トライアングルフェスタ（のびゆくこどものつどい）で、自治会連合会はじめ、地域の方々が運営に携わるとともに、多くの中学生ボランティアの方に各ブースの担当として活躍した。

(6) 上記の事例で、成功・失敗のポイントは何だったとお考えでしょうか。

地域及び学校と連絡を密にしたこと及び前年度のアンケートにあった意見を考慮して開催に生かした。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

前橋市公民館運営審議会事務局
前橋市中央公民館内 担当：新井
TEL 027-210-2199 FAX 027-237-0722
E-mail : Chuo_komin@city.maebashi.gunma.jp